



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続におけて -

令和7年11月7日

我孫子市小中一貫教育だより
第384号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

「未来に残してつなぐ ふさ カリキュラム」～幼保小交流行事

布佐小学校1年生生活科の時間で小中一貫オリジナルカリキュラムに位置づけた授業を実施しました。「秋のテーマパーク大作戦」と名付けたこの単元は、幼保小交流の一環として、児童が未就学児の体験活動を世話することで、できる喜びや役立つ充実感を味わうことを目的に、キャリア教育を柱として9年間を繋いでいくカリキュラムの1年目です。

教室の中には紅白帽を白(小学生児童)と赤(保育園児)にした子ども達が「何が始まるんだろう。」とワクワクした様子で楽しそうな表情を浮かべていました。授業が始まり、園児は椅子に、児童は園児に寄り添うようにその脇に座ります。

担任から「勉強の時の座り方を確認しましょう。」という投げかけと具体的な指示が出されると、園児はそれに反応し、児童は姿勢を正すための具体的な方法を園児に丁寧に教えて和やかな雰囲気です。

続いて、鉛筆の持ち方について担任が指示、指示された内容を児童がしっかりと聞き取って園児に伝え、ちゃんとできているかをチェックします。さらに配られたプリントの直線や曲線をなぞる課題に挑戦する園児を児童は温かく見守り、しっかりとできていることを確認して赤丸をつけてあげていました。この後、教室移動もあってトイレ休憩をとりましたが、児童は園児にトイレの場所を教えたり一緒に連れて行ったり、水分をとっておくようアドバイスするなど、微笑ましい光景が随所に見られました。

休憩後の後半は場所を図工室に移し、児童たちが考えて作った6種類のおもちゃ(的当て、松ぼっくりけん玉、どんぐりコマ、どんぐりやじろべい、どんぐりマラカス、落ち葉トランプ)で園児たちが遊びます。黒板には、秋祭り「好きな遊びを体験してね」と板書されていました。



それぞれのブースには担当の児童が園児の呼び込みをし、園児に遊び方の説明、うまくいくためのコツを教えるなど得意げに活動しています。園児たちはそれをしっかりと聞き、夢中になって遊び、時間は瞬く間に過ぎていきました。

最後に教室に戻って終わりの会を行い、園児からは児童たちにお礼としてハロウィンの手作り壁飾り、児童からは園児たち一人ひとりに手作り首飾りがプレゼントされ、お互いに歓喜と笑顔で会は終了。児童に昇降口まで見送られて園児は帰路につきました。児童たちの様子から本時のねらいは十分に達成できていると感じられる授業であったと思います。

